

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	建築生産自動化小委員会	主 査 名：前田 純一郎 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (建築生産運営委員会)	委員長名：梶田 佳寛 主 査 名：三根 直人
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築生産への次世代ロボット技術の活用に関する調査研究を行う。 ・ 第 6 回ワークショップの企画・開催。(2009 年 2 月 5 日) ・ 第 11 回建設ロボットシンポジウムの企画・開催 (土木学会、日本ロボット学会など 6 学協会と共催：2008 年 9 月 2 日開催) 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	新井一彦(マネジメントシステム評価センター)、井上文宏(大林組)、椎名國雄(東海大学)、 玉木欽也(青山学院大学)、蔡成浩(鹿島)、寺井達夫(千葉工業大学)、半田雅俊(戸田建設)、 星野春夫(竹中工務店)、前田純一郎(清水建設)、眞方山美穂(建築研究所)、三浦延恭 (国士舘大学)、室英治(芝浦工業大学)、森正人(大成建設)、吉武亮二(フジタ) 14 名 五十音順	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名称：次世代ロボット活用技術に関する WG 目 的：次世代ロボット技術の建築生産への活用に関する調査研究を行う。	
2008 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む) (WG は、8 回開催)
刊行物	1 .
講習会	1 . 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 . 第 6 回ワークショップ (2 月 5 日開催) 参加者数 50 名 ワークショップ予稿集作成
	2 . 参加者数 名
大会研究集会	1 . 参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1 .
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. ワーキンググループでは、我国の最先端のロボットを研究している大学や公的研究機関の研究室を訪問して調査した最新ロボット技術の動向をとりまとめ、建築生産への応用の可能性についても検討を加え、現在、報告書作成中である。 2. 第 6 回ワークショップを、2009 年 2 月 5 日に、「最近の計測技術の動向と建築生産の自動化」をテーマとして開催した。「空間の状態検知や測位に関する最新の技術動向」、「I C タグ技術によるシステム開発適用事例」、「状態検知技術によるシステム開発適用事例」の 3 つのセッションを設け、11 編の研究発表を行った。建築環境の構造化や現場のユビキタス環境構築などの研究動向に加え、測位技術や I C タグ、センシング、ネットワーク技術などの最新技術を組み込んだ開発事例の発表があり、活発な討議が行われた。当該分野の技術の今後の建築生産の自動化における重要性を確認することができた。 3. 2008 年 9 月に建設ロボットシンポジウムを、他学会・協会と共同で開催した。
委員会活動の問題点・課題	2009 年度より、C A 小委員会と名称を変更し、改めて調査研究活動を実施する。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。